

【2022年度】

オンライン授業評価に対するコメント、授業改善目標【応用教育】

科目名	コメント	授業改善目標
科目19	この授業は、多くのことを受講者に考えてもらう内容となっているが、高い評価が多くなっている。とりわけ、「この授業を履修して自分は成長したと思いますか。」の質問に97.1%の受講者が「成長することができた」と回答していることはうれしく思われた。	いくつかの質問で1～2名程度、評価が高くない回答者がおられたので、全員が満足する内容になるよう、配慮していきたい。
科目01	学びに関しては、1番高い評価の回答が最も多い質問がほとんどであったが、下から2番目以下の低評価の回答もほとんどの質問で1～2名いる結果となった。	自由記述で一度も出てない旨の記述もあったため、低評価の回答の理由が不明な点があるが、低評価がなくなるよう、一人ひとりの受講者により配慮していきたい。ITビジネスに関していろいろ知ることができたとの回答をふまえ、今後もITビジネスの現状をタイムリーに伝えていけるよう努めたい。
科目20	オンデマンド形式の授業であった。毎回のアンケートではなれないプログラミングについて多くの悲鳴が届いていましたが、最終的なアンケートからは受講生が積極的、能動的に学びを深めようとしていたことが表れていました。しっかりと理解しようとした結果、授業内容をよく理解し、高い満足度、推奨度につながったようです。	オンデマンドでプログラミングを学ぶ利点を活かして、今後とも役立つわかりやすい教材を作成していきたい。
科目21	大多数の受講生が積極的、能動的に学んでいました。そのためか、授業内容についての理解も進んだようです。多くの受講生が周囲の人へも薦めたいと回答してくれていました。	時間外学習の時間が少なかったようである。課題の量や難易度を調整し、時間外学習の時間を確保したい。
科目22	授業評価アンケートへのご回答、ありがとうございます。今期は履修時に選択画面に表示されないというシステムトラブルの影響により、履修者が昨年の半分以下の少人数での開講となりました。少人数なので、全員に目を配り、講義内で必ず指名するなどの工夫をおこなったつもりでしたが、全体的なコメントとしては、概ね満足の学生が2/3と、そうでない学生が1/3になっています。各自の講義への取り組み方への回答割合が同様の傾向ですので、評価を併せて考察してみますと、学ぶ意欲のあった学生は概ね満足し、そうでない学生は満足しなかったのではないかと考察いたします。学ぶ意欲がない学生にも興味を持ってもらえる工夫が今後できればと思いますが、このような講義スタイルを好まない学生もいたのかもしれない。大学はお膳立てされた知識を吸収する場ではなく、自ら知識を開拓していく学びの場ですので、学生の皆さんもそのような意識を持って受講していただければと思います。	今後も学ぶ意欲の高い学生の期待に応えられるように講義を展開していく予定です。一方で、消極的理由で履修を決めた受講生にも、良い意味で「期待を裏切る」講義が展開できるように心掛けたいと思います。
科目23	HTMLを使ったWebページ作成を演習した。プログラミング環境の設定段階から大混乱していたが、後半の授業はスムーズに行えたと思う。十分ではないがおよその目標は達成できた。	環境設定を丁寧に説明する。
科目02-1	オンデマンド形式であったが、受講生の多くは能動的に学び、内容をよく理解できていたようでした。授業の説明も概ねわかりやすかったようです。多く受講生がこの授業に満足し、友人や後輩に勧めたいと回答してくれていました。ありがとうございます。	対面でない分、他者との議論や他のことに応用する機会が十分ではなかったかもしれない。オンラインツールによるディスカッションなどによって促進していきたい。
科目02-2	学びに関しては、上から2番目の評価の回答が最も多い質問がほとんどであり、下から2番目以下の低評価の回答もほとんどの質問で一定数いる結果となった。	評価が高く有意義だったと思う受講者と、それらと反対であった受講者に二分されている印象を受けたので、特に後者に対して配慮した工夫を考えていきたい。
科目02-3/4	パソコンの利用方法をリテラシーレベルで教えるのか、データサイエンスの技術的なことを教えるのか、授業の趣旨が明確でなかったのが問題だと感じた。コンピュータ初学受講生には、別の機会にICTのリテラシーを教授しておくべきだと感じた。	ICTリテラシー教育の充実を図る。
科目24	概ね高い評価であったが、最もよい評価である質問はあまり多くなく、満足度や後輩へ勧めるかの質問にどちらでもないとの回答が1つずつあった。	各質問で最もよい評価となるよう、各質問の内容について改善を進めていくとともに、「久しぶりに数学をするのは気分転換でたのしい」という声を大事にし、本学における数少ない数学を学ぶ貴重な機会であることを意識した楽しい授業をより心がけていきたい。
科目25	回答がなかったので判断できない。	
科目26	基本情報処理技術者試験レベルの内容を講義し例題を解かせたので、ややレベル的に難しいと感じたかもしれない。評価はおよそ妥当であると感じた。	途中で問題を解かせて理解度を把握しつつ進める。
科目12	概ね内容を理解してくれ、90%の理解度を示してくれたのは嬉しかった。また、授業の満足度は72.4%で、成長を感じてくれた学生が9割近くに登ったことも有り難い。常識を疑い、自分で考えることの多い講義だと思うがみんな頑張ってくれた。	情報倫理のパートでは、プライバシーと著作権の一般的な説明をもう少し丁寧に行うようにしたい。また、セキュリティ技術については、暗号技術の実践に偏ったので、概説的な部分をもう少し熱くしたい。

科目名	コメント	授業改善目標
科目27-1	概ね高い評価であったが、満足度や後輩へ勧めるかの質問にどちらでもないとの回答が1つずつあった。	どちらでもない旨の回答のあった項目について、受講者の様子を注視しながら、高い評価となるよう、工夫していきたい。
科目27-2	グループで力を合わせて課題に取り組むことは、みんなの成長につながったのではないかと思います。	みんなで力を合わせて課題解決に取り組むことを、お手伝いしていきたいと思います。
科目27-3	学生の適性に合わせて、様々なテーマを掲げ少しずつ情報関連の知識を身に付けさせることができたと思います。そのため、知識としては広く浅くはなりましたが、視野・視点を広げることはできたと思います。	受講する学生が少ないうちはよいが、受講者が増えたときに同じ方法では理解を深めることは難しいので、それらをどのようにしていくかが課題となると思われるので、今後は自らで考え行動させるような内容にしていく必要があると思われます。
科目27-4	受講生は主体的、積極的に活動し、学びを深めていました。ゼミ生と教員の協働により授業を成立させていたが、満足度も高く効果的に卒業研究のための準備ができました。	リモートも活用し、ゼミ生がよりフレキシブルに効果的な研究活動ができるようにしていきたい。
科目28-1	研究計画の立案、実施、論文作成を学生主体に進めることが、本講義の目標であったが、自主性が十分に発揮できたとは言えない状況であった。	論文作成の工程の初期に当たる課題発見のプロセスをより充実させることにより、その後のプロセスの自主性をはかっていきたい。
科目28-2	専門ゼミⅠに引き続いて、学生個別にテーマを持たせることで興味のある1つのことについて集中して技術や知識を身に付けさせることができたと思います。その結果、各学生それぞれが選んだテーマについてはより深く理解させることができたと思います。	受講生が4名と少なかったため、個別指導がしやすかったが今後受講生が増えたときにはグループでの活動を積極的に取り入れる必要があると思われる。そのためにも、ゼミの中でディスカッションなどをもっと行って各学生がスムーズに連携できるようにしていく必要があると思われる。